



最近「若者の車離れ」という言葉もある通り、一昔前のような「免許を取って当たり前、車を持って一人前」という空気感ではなく、なっているため、部員集めには苦労されるのも無理はありません。

今の時代の学生に響くには、「車そのものの魅力」だけでなく、「そのサークルに入るとどんな楽しい体験ができるか」を具体的に見せていくのが鍵になります。いくつか具体的なアイデアを整理したのでアドバイスのヒントにしてみてください。（学生行事に参加）

1. 入会ハードルを徹底的に下げる

今の学生にとって「車＝お金がかかる、維持が大変」というイメージが先行しがちです。まずはその不安を取り除いてあげることが大切です。

- * 「免許なし・車なし OK」を強調する：「車は好きだけど運転は怖い」「まだ免許を持っていない」という層もターゲットに入れます。先輩の横乗り体験からスタートできることを伝えます。
- * 「維持費の不安」に応える：部費がいくらなのか、どうやって安く車を楽しんでいるのか（シェアハウスならぬシェアカー、DIY 整備など）を透明化します。

2. 「映える」活動をアピールする

今の学生は SNS（Instagram や TikTok）での見え方を重視します。

- * 絶景ドライブの写真：単に車のメカニズムだけでなく、星空の下や海沿いでのキャンプ、美味しいものを食べに行った時の写真を SNS で発信します。
- * 「非日常」の演出：普段の生活では行けないような場所へ行ける、という[自由]を売りにします。

3. ゲームやシミュレーターを活用する

実車にいきなり触れるのはハードルが高い場合もあります。

- * e スポーツ（レースゲーム）大会の開催：『グランツーリスモ』などのゲームなら、車に詳しくない学生も気軽に参加できます。そこから「本物に乗ってみたい？」と誘う流れを作ります。
- * シミュレーターの導入：ハンドルコントローラーを置くだけで、人が集まるきっかけになります。

4. 「実用的なメリット」を提示する

趣味としてだけでなく、将来役立つスキルとしてアピールするのも手です。

- * 「就活に効く」側面：「機械工学の知識がつく」「自分たちでイベントを企画・運営する力」などは、実は自動車業界への就職に有利に働きます。
- * メンテナンス講座：「タイヤ交換ができるようになる」「オイル交換を自分でして節約できる」といった、生活に直結する知恵を教えるイベントを開きます。

●部員集めのためのチェックリスト・サークルで、以下のことができているか確認してみてください。

- ・ SNS 発信：定期的に活動風景をアップしているか？（特に動画）
- ・ 新歓イベント：試乗会や BBQ など、入りやすいイベントがあるか？
- ・ ポスター：「怖い・マニアック」な印象を与えていないか？

●ポイント：昔のように「車が好きなら来い！」という姿勢よりも、「車があると大学生活がこんなに豊かになるよ」というライフスタイルの提案が、今の学生には刺さりやすいです。

※今一番「これに困っている」という具体的なエピソード（例えば、ポスターを作ったけど反応がない、など）はありますか？よろしければ、さらに踏み込んだ作戦を一緒に考えさせていただきます！